

7/3 安全で安心な地域社会を



▲キャンペーン用品を配りながら啓発活動をする参加者

犯罪や非行をした人たちの再犯・再非行を無くし、「あやまち」からの立ち直りを支える地域をつくろうと、保護司会加西分区や更生保護女性会、地区推進委員、市などが、「社会を明るくする運動」を行いました。参加した約120名は、犯罪や非行のない社会を築いていくことを呼びかけました。会場では、愛の光こども園児による太鼓演奏もあり和やかな雰囲気になりました。

7/4 メンズカレッジ、手料理に挑戦



▲熱心に料理をするメンズカレッジ受講生の皆さん

南部公民館主催のメンズカレッジが、6月～3月にかけて開校されています。「趣味探求コース」と「クッキングコース」の2コースがあり、隔月で実施されています。先生の説明を熱心に聞かれたあと、受講生の皆さんは実際に野菜を切ったり、炒めたりと、先生のアドバイスを受けながら、楽しく調理されました。11月には、パンづくりにも挑戦されます。

7/12 兵庫県政150周年式典で作文を発表



▲神戸国際会館こくさいホールで、作文を発表する山岡さん

兵庫県政150周年記念式典で、山岡夕里子さん（富田小6年）が、「みらい“ひょうご150”プロジェクト」作文コンクールで、昨年度の優秀賞を受賞した作文「子ども狂言 根日女」を発表しました。「子ども狂言塾での活動を紹介することで、加西市以外の人たちにもこんな素晴らしい物語があるということを、心をこめて伝えたいです。」と話してくれました。

7/18 高齢者夫婦を撮影して60年



▲撮影をする宮本さんと上坂忠勝・千江子さん夫妻

宮本久雄さんが続けられている高齢者夫婦の記念撮影が、今年で60年目を迎えました。宮本さんは、昭和34年から数え年の合計が159歳か160歳になる夫婦をボランティアで撮影する活動を続けられてきました。これまでに撮影した夫婦は、なんと2641組となりました。「切磋琢磨しながら、感性が鈍らない写真と体力を維持していきたい」と語られました。

7/18 高橋教育長が退任されました



▲職員から感謝の花束を贈られる高橋前教育長

加西市役所 1 階エントランスホールで 1 期 3 年間にわたり教育長を務められた高橋晴彦前教育長の退任式が行われました。平成 27 年 7 月に加西市教育長に就任し、開かれた学校づくりや幼保一体化などに尽力しました。高橋前教育長は「皆さんの協力で充実した職務ができた」と感謝の言葉を述べられ、大きな拍手と職員の花束で見送られました。

7/22 夏休み太鼓づくり教室



▲親子で協力しながら太鼓を作る参加者

皮革業の 1 つである太鼓作りを通じ、命を考える人権研修として、牛の革を使ったオリジナル太鼓作り教室が、善防公民館で開催されました。姫路市で太鼓作り職人をされている講師の十八代目太鼓屋六右衛門さんは「太鼓作りは、その時の思い出と頂いた命をつめる作業なんです」と命の尊さを説明され、参加者 49 名は、いい音が出るように力を合わせ、皮を張っていきました。

7/22 9カ国から参加 国際交流夏祭り



▲初めて見る流しそうめんに興味津々な参加者たち

NPO 法人ねひめカレッジ（加西市国際交流協会）主催の国際交流夏祭り「なつのゆうべ」が善防公民館で開催され、ベトナム、中国、アメリカなど 9 カ国から 80 名が参加。会場には特設の流しそうめん台が設置され、日本の子どもたちが食べるのを興味津々な様子で見られていました。参加した外国人は、スーパーボールすくいなど日本の縁日文化を楽しみました。

8/8 加西のぶどうと野菜で料理教室



▲加西ゴールデンベリー A を使ったゼリーを作る子どもたち

加西市農村女性組織連絡協議会が主催する「親子料理教室」が市民会館で行われ、10 組 22 名の親子が参加しました。

同会会員から加西の農作物についての説明と地産地消の大切さを教わり、加西産の野菜をふんだんに使ったハンバーグと、加西ゴールデンベリー A を使ったキラキラゼリーを作りました。